

株式会社小西製作所

もともと父が、個人の方向けの模型製造・販売から始めました。より精巧に作るには、部品の点数も多くなる。板から切り出すよりも、ロストワックスのほうが手間はかかる分、数量や複製ができるもあり、ロストワックスの成型を採用しました。

同業がどんどん減っていく中、うちのサイズも大から小まで、どんなものでも対応可能。細部に至るまで忠実に再現するために、資料集めや細部確認など、下準備には時間をかけます。細かな造りを把握しているマニアックな方もいらっしゃいますが、そのような方にも満足していただけるよう、小さな部品1つひとつまでこだわって作っています。同じ模型でも、プラモデルはプラスチックが劣化したり、色落ちしたりしますが、うちの作る金属製の模型は劣化しづらいんです。重厚感もあり、現物をそのまま小さくした正確なスケール感も支持されているのだと思います。

江戸時代に作られた
二挺天符式（にちょうてんぶしき）
の時計を、
現代風に再現しました。

江艦船や船舶、航空機や戦車などの
模型を中心に、
忠実に再現しています。

小西 修さん

小西 登さん

同業は国内で3、4社ぐらいで
ロストワックスはうちだけです。
だから同業者からの依頼で、
パーツ部品を製造し
販売することもあります。



複雑な模型も再現します
何百、何千もの部品が必要な

ロストワックス成型での模型制作 船舶会社や鉄道会社から依頼

外観からは何をする会社かまったく想像つかないが、名だたる造船会社やロケット製造企業、博物館から依頼が来るという。実は、小西製作所はロストワックスという成型で、船舶や航空機の模型を制作している日本唯一の会社。その世界においては、知らない人はいないという有名企業だ。

ロストワックスとはワックスで原型を作り、周りを鋳砂や石膏で覆い固め、加熱することで中のワックスを溶かしてできた空洞に、溶解した金属を流し込み部品を作る製造方法。古くは刀部品や仏具などに使われていたが、複雑かつ精度の高い部品を作ることができる。同社は、型に合成樹脂を流し込み固めるレンジ成型という方法での制作も可能。制作する模型の形や大きさによって成型方法を選択したり、組み合わせたりする。

創業当時は個人の方の依頼が多かったが、昨今では企業からの依頼が中心。依頼が多いのは、船舶の完成記念用の模型や製造時のプレゼン用、展示用、個人の方はコレクション。オイルタンカーやバルクキャリアーやコンテナ船、自動車運搬船、クレーン船、客船、護衛艦などの船舶、SLや寝台特急などの鉄道模型、戦闘機など。企業からの依頼であれば設計図面を見る事ができるが、難しいのは潜水艦や戦闘機などの軍事用、実物を見ることができない古いものを制作する時。そのような場合は、古い書籍や写真資料などをもとに細部のパーツを確認し、模型用の設計図面を書き起こす。およそ、模型用の設計図面の制作に約1ヶ月。それをもとに必要な部品を成型し、仮組み立てた後に再びバラして、部品ごとに色を塗っていく。最終的な組み立てには2、3週間程度で、制作期間の大半が下準備に要する。

模型は、大型よりも小さいものを作るほうが難しい。部品が小さくなる分、細やかな作業も難しいが、長年携わってきた職人技が難しい作業をも実現可能にしている。海外の方からも、日本品質と高い評価をうけ人気が高いのも納得だ。

株式会社小西製作所

<http://www.konishimodel.com>
〒544-0024 大阪市生野区生野西3-13-18
TEL 06-6717-5636 FAX 06-6717-0484

事業内容／銅合金ロストワックス精密鋳造品、船舶、航空機、自動車などの金属模型制作

我が社の 自慢 神戸海洋博物館に 模型が展示されている！

同社の製品は非常に精巧に作られているので、博物館や資料館などからの依頼も多い。近隣では神戸海洋博物館の1階エントランス、さらに三菱みなとみらい技術館ミュージアムショップ、日本郵船歴史博物館に展示されている。

